

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成26年6月17日
【事業年度】	第56期（自平成25年3月1日至平成26年2月28日）
【会社名】	株式会社ハローズ
【英訳名】	HALOWS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤利行
【本店の所在の場所】	広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	岡山県都窪郡早島町早島3270番地1(本部)
【電話番号】	086-483-1011(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 佐藤太志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年5月30日に提出いたしました第56期（自平成25年3月1日至平成26年2月28日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第4 【提出会社の状況】

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

社外取締役及び社外監査役

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第4 【提出会社の状況】

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

社外取締役及び社外監査役

(訂正前)

当社は、社外取締役は選任しておりませんが、社外監査役を4名選任しております。社外取締役に期待される外部視点からの取締役の業務執行に対する監視機能については、内部監査及び内部統制の実施状況を踏まえ、社外監査役4名によって経営に対して客観的、中立的な監視機能が十分に確保できると考えており、現状の体制を採用しております。

社外監査役の選任及びその独立性に関する基準及び方針は定めておりませんが、選任に当っては証券取引所の定める独立役員に関する判断基準を参考にし、一般株主との利益相反が生じるおそれがない候補者を選任しております。

社外監査役は、それぞれの専門分野からの助言や情報提供を行う一方、中立的な立場から客観的かつ公正な監査を行うとともに、取締役会及び経営関連の重要な会議に出席し、重要な書類を閲覧するなど、取締役の職務執行を監視しており、当社の企業統治に重要な役割を果たしております。

岡本均氏は、金融機関で培われた豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。

稲福康邦氏は、上場企業での経理部門における豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。

松本卿式氏は、大手流通業で培われた豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。

小林正和氏は、学識者としての専門知識に加え、MBA（神戸大学大学院経営学）及び中小企業診断士としての資格を有し、経営診断、経営指導等の豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。

社外監査役のうち、岡本均氏は当社の取引先である株式会社トマト銀行の出身でありますが、同氏と当社との間には、人的関係、資本的関係及び取引関係その他の利害関係はありません。また、当該銀行と当社の間には、人的関係及び資本的関係その他の利害関係はありません。これにより、当社あるいは岡本氏の意思決定に重要な影響を及ぼすことはないことを認識しております。また、岡本均氏は2,000株、稲福康邦氏は16,400株、松本卿式氏は4,300株、小林正和氏は2,400株、当社株式を保有しておりますが、当社との間には人的関係及び取引関係その他の利害関係はありません。

なお、社外監査役と内部監査・会計監査との連携は「コーポレート・ガバナンスの体制」のとおりであります。

(訂正後)

当社は、社外取締役は選任しておりませんが、社外監査役を4名選任しております。社外取締役に期待される外部視点からの取締役の業務執行に対する監視機能については、内部監査及び内部統制の実施状況を踏まえ、社外監査役4名によって経営に対して客観的、中立的な監視機能が十分に確保できると考えており、現状の体制を採用しております。

社外監査役の選任及びその独立性に関する基準及び方針は定めておりませんが、選任に当っては証券取引所の定める独立役員に関する判断基準を参考にし、一般株主との利益相反が生じるおそれがない候補者を選任しております。

社外監査役は、それぞれの専門分野からの助言や情報提供を行う一方、中立的な立場から客観的かつ公正な監査を行うとともに、取締役会及び経営関連の重要な会議に出席し、重要な書類を閲覧するなど、取締役の職務執行を監視しており、当社の企業統治に重要な役割を果たしております。

岡本均氏は、金融機関で培われた豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。同氏は、当社の取引先である株式会社トマト銀行の出身であります。同氏と当社との間には人的関係及び取引関係その他の利害関係はありません。また、当該銀行と当社の間には、人的関係及び資本的関係その他の利害関係はなく、当社あるいは同氏の意味決定に重要な影響を及ぼすことはないことを認識しておりますので、証券取引所の定めに基づき、独立役員として指定し、届け出ております。

稲福康邦氏は、上場企業での経理部門においての豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。また、当社との間には人的関係及び取引関係その他の利害関係はないことから、証券取引所の定めに基づき、独立役員として指定し、届け出ております。

松本卿式氏は、大手流通業で培われた豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。また、当社との間には人的関係及び取引関係その他の利害関係はないことから、証券取引所の定めに基づき、独立役員として指定し、届け出ております。

小林正和氏は、学識者としての専門知識に加え、MBA（神戸大学大学院経営学）及び中小企業診断士としての資格を有し、経営診断、経営指導等の豊富な経験と幅広い見識により、社外監査役としての職務を遂行していただけるものと考え、選任しております。また、当社との間には人的関係及び取引関係その他の利害関係はないことから、証券取引所の定めに基づき、独立役員として指定し、届け出ております。

各監査役の、当社株式の保有状況につきましては、「役員状況」に記載のとおりであります。

なお、社外監査役と内部監査・会計監査との連携は「コーポレート・ガバナンスの体制」のとおりであります。